

旬の風 193号 (2018年5月)

春は桜、今年もあっという間に桜の季節は過ぎてしまいました。
旬のお店の近くにある花と緑の散歩道のお花見は今年も盛況でした。
ふと、昔旬でもお弁当を売りに行っていたことを思い出しました。
その頃は余裕がありました。(暇でした)

4月8日、大宮でワーカーズ法制化実現の為の協同フォーラムに
旬からも大勢参加しました。私たちワーカーズの働き方は全員出資、
労働、経営にたずさわっていますが、既存の法人形態には当てはまらない
ので、この働き方に合う法人格がなく、責任が個人に偏る、公的な信用が
得られない、社会保障が受けられないなどの不都合がおこっています。
旬もやむなく企業組合という冠を付けていますが、私たちの本意でない
営利企業として扱われています。

ワーカーズという、雇用されない働き方の法律ができ、この働き方が
もっと広まり、労働が人間らしく生きるための手段になる時代が来ることを
願います。 (W)



メニュー担当者からの一言

旬では、新年度の幼稚園給食が始まりました。
まだ5月。慣れない新入園児の子ども達が少しでも
食べやすいようにメニューを考えました。
例えば“金平ごぼう”。いつもは、ごぼうと人参、
白胡麻ですが今回はひき肉をいれた“そぼろ金平”に
しました。サラダの味付けも子ども用と大人用では
少し味を変えて調理しています。
子ども達がたくさん食べて、ピカピカのお弁当箱が
戻ってきますように・・・